

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	休眠預金等活用に関する調査等に必要な経費			<b>担当部局庁</b>	政策統括官(経済社会システム)		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成29年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	休眠預金等活用担当室		小川 敦之			
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律			<b>関係する計画、通知等</b>	・経済財政運営と改革の基本方針2021 ・休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針(平成30年3月30日内閣総理大臣決定) ・2022年度休眠預金等交付金活用推進基本計画(令和4年2月24日内閣総理大臣決定)					
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号。以下「法」という。)により、法に基づき設置された休眠預金等活用審議会(以下「審議会」という。)において、基本方針及び基本計画の審議等を行うことになっている他、内閣総理大臣が指定活用団体に対し、民間公益活動促進業務に関し監督上必要な命令をすることとなっている。これを踏まえ、審議会における議論及び指定活用団体に関する適切な監督に資するために、休眠預金等の活用に必要な調査を実施する。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	休眠預金について、法では、資金分配団体が実行団体に対して、助成・出資・貸付を行うことが可能である旨定められているが、様々な課題があることから、運用上助成のみとしている。休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例として、英国の団体の投融資の現状について、実態等を把握する。									
<b>実施方法</b>	委託・請負									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	令和元年度	29	令和2年度	25	令和3年度	25	令和4年度	18
		補正予算		-		-		-		25
		令和4年度第2次補正予算		-		-		-		25
		前年度から繰越し		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し		-		-		-		-
		予備費等		-		-		-		-
		計		29		25		25		43
	執行額		27		13		3			
	執行率(%)		93%		52%		12%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		93%		52%		12%			
<b>令和4年度第2次補正予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由							
	市民活動促進等調査費	25								
	計	25								
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	基本計画等の策定に向けた審議会での議論に資するため、休眠預金等にかかる調査を行う。									
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	基本計画等の策定について審議会での議論に活用する	基本計画等の策定について審議会での議論に資する調査の実施件数	活動実績	件	3	1	1	-	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			当初見込み	件	3	3	3	-	
	執行額/調査数			単位当たりコスト	百万円	9	13	3	-	
				計算式	執行額(百万円)/調査数	27/3	13/1	3/1	-	
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	-									

		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	本調査は、審議会での議論及び指定活用団体の適切な監督に資するために行うものであり、直接的な成果を求めるものではなく、定量的な成果目標を設定することは適さない。			定性的な目標：基本計画策定等に向けた審議会での議論の推進  令和元年度：休眠預金等活用国際シンポジウム及び社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査等を実施。2020年度基本計画に活用された。  令和2年度：休眠預金を活用した出資・貸付に関する英国の事例調査を実施。2021年度基本計画に活用された。  令和3年度：前年の調査結果を基に、休眠預金を活用した出資・貸付に関する英国の調査(第2弾)を実施。2022年度基本計画に活用された。						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		基本計画の策定等について審議会での議論を行う	審議会の開催	実績	回数	6	12	6	-	-	
				目標値	回数	6	12	6	-	-	
				達成度	%	100	100	100	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4. 経済財政政策									
	施策	4. 経済財政政策の推進			政策評価書 URL	-					
	生計画改革工程表 2021	新経済・財政再生取組事項	分野:	-	-						
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所			-						
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
		項目	評価	評価に関する説明							
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	休眠預金等の活用に当たっては、透明性の確保や多様な意見が適切に反映されるように配慮されるべきであり、審議会での十分な議論を行う必要がある。その議論に資するための調査であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。							
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	政府が審議会での議論を踏まえて基本計画を策定することとなり、そのための調査を行うもので、国が実施することが適当である。							
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	基本計画の策定等について審議会での議論に資するための調査を行うための経費であり、休眠預金等の活用に当たり必要な優先度の高い事業である。							
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○								
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	支出先の選定に当たっては、一般競争入札又は複数社見積もりを取得することにより、競争性のある調達方式としている。							
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無								
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-							
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	会計部署の定める規則等に基づいて実施した入札により支出先を選定しているため、単位あたりコスト等の水準は妥当である。							
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	業務経験・能力等を勘案して、合理的と判断する場合にのみ再委託を認めている。							
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査に必要な経費等に限定されている。							
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	入札が一度不落になり、仕様書を簡素化して再入札を行ったため。							
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-								
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	入札時の仕様書の作成に当たっては、真に必要なものに限り、多くの事業者が入札に参加できるような業務とする等により、競争性の確保やコストの低減に努めている。								

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	仕様書どおりに業務が実施されており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	英国の出資・貸付のヒアリングをもとに、報告書を作成。審議会等に報告を行う予定。将来における出資・貸付けの解禁の是非の検討に活用された。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号		事業名	

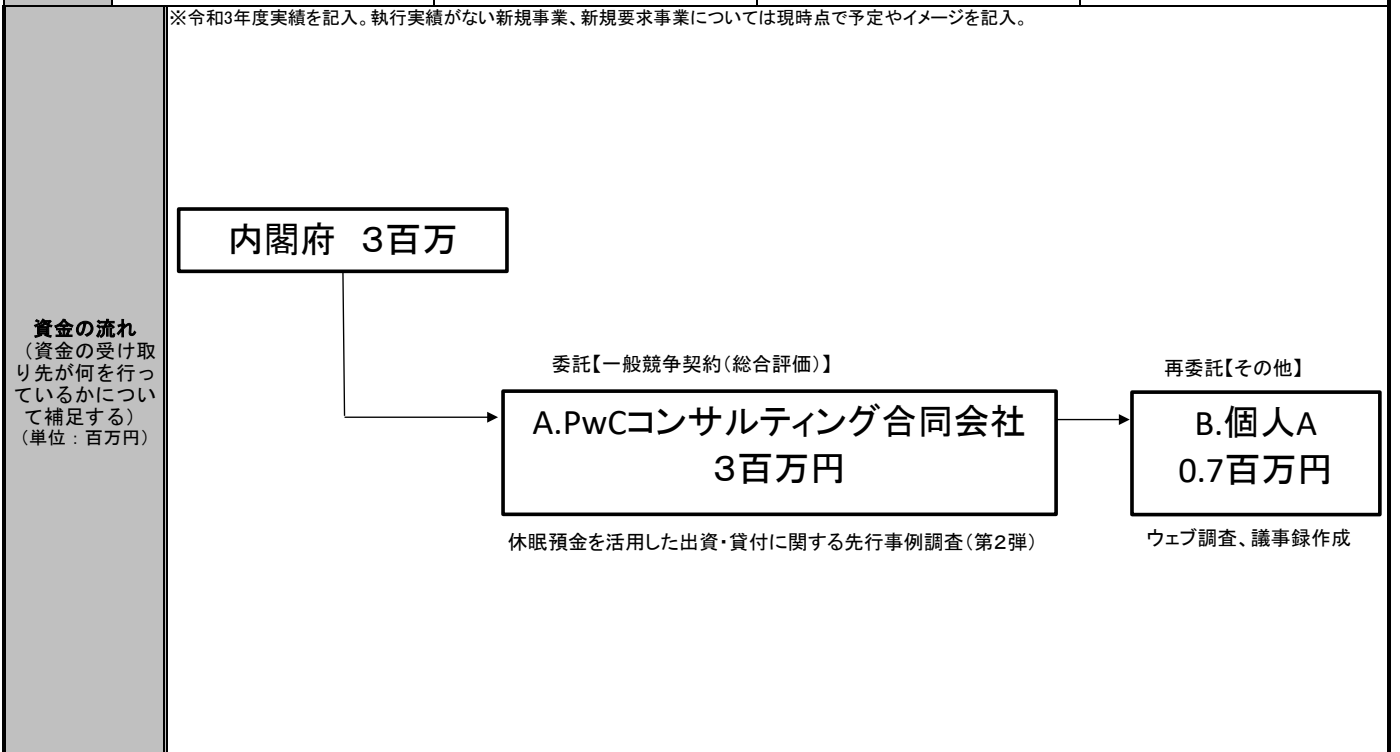
備考

民間公益活動促進のための休眠預金等活用ホームページ  
[https://www5.cao.go.jp/kyumin\\_yokin/index.html](https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html)

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	内閣府 新29-0001			
平成30年度	内閣府 0015			
令和元年度	内閣府 - 0016			
令和2年度	内閣府 0015			
令和3年度	2021 府 20 0016			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.PwCコンサルティング合同会社			B.個人A		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	調査経費	休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査(第2弾)	3	再委託	ウェブ調査、議事録作成等	0.7
計		3	計		0.7	

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	休眠預金を活用した出資・貸付に関する先行事例調査	3	一般競争契約(総合評価)	2	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	ウェブ調査、議事録作成等	0.7	その他	-	-	